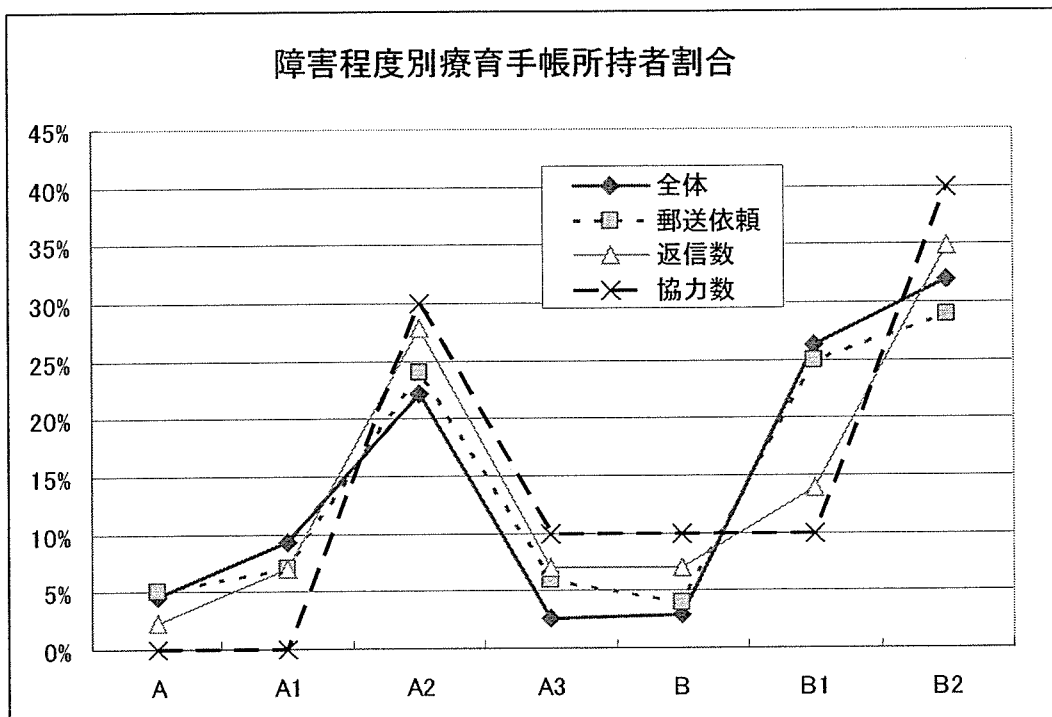


障害程度別療育手帳所持者割合



結論としては、身体障害者手帳所持者も療育手帳所持者も、特に軽度の人が多く調査に協力していたという傾向は確認できなかった。上記2つのグラフから読み取れる範囲では、全体の障害程度ばらつきをほぼ反映した調査協力が得られているといえるだろう。ただし、調査標本数の少なさから統計的な判断を下すことは困難である。

<参考クロス表>

表1-1：富士市身体障害者手帳所持者（18歳以上65歳未満）  
総合等級 1級最重度 6級最軽度

年齢階層	総合等級	女	男	総計	割合
18-29	1級	27	40	67	3%
	2級	16	23	39	2%
	3級	10	16	26	1%
	4級	6	13	19	1%
	5級	6	6	12	0%
	6級	9	8	17	1%
18-29集計		74	106	180	7%
30-39	1級	46	51	97	4%
	2級	25	41	66	3%
	3級	17	29	46	2%
	4級	17	39	56	2%
	5級	12	22	34	1%
	6級	7	16	23	1%
30-39集計		124	198	322	13%
40-49	1級	40	70	110	4%
	2級	33	45	78	3%
	3級	16	46	62	2%
	4級	22	53	75	3%
	5級	18	33	51	2%
	6級	9	19	28	1%
40-49集計		138	266	404	16%
50-59	1級	119	171	290	12%
	2級	58	84	142	6%
	3級	42	90	132	5%
	4級	67	127	194	8%
	5級	40	40	80	3%
	6級	14	36	50	2%
50-59集計		340	548	888	35%
60-65	1級	104	141	245	10%
	2級	55	50	105	4%
	3級	45	74	119	5%
	4級	71	80	151	6%
	5級	19	36	55	2%
	6級	13	32	45	2%
60-65集計		307	413	720	29%
総計		983	1531	2,514	100%

表1-2：富士市身体障害者手帳所持者 協力依頼文書発送者（18歳以上65歳未満）  
総合等級 1級最重度6級最軽度

年齢階層	総合等級	女	男	総計	割合
18-29	1級	4	6	10	3%
	2級	1	4	5	1%
	3級	3	3	6	2%
	4級	2	3	5	1%
	5級		1	1	0%
	6級	2		2	1%
18-29 集計		12	17	29	7%
30-39	1級	6	6	12	3%
	2級	5	9	14	4%
	3級	1	3	4	1%
	4級	2	4	6	2%
	5級	5	5	10	3%
	6級	1	5	6	2%
30-39 集計		20	32	52	13%
40-49	1級	4	9	13	3%
	2級	8	8	16	4%
	3級	3	5	8	2%
	4級	3	10	13	3%
	5級	3	8	11	3%
	6級	2	2	4	1%
40-49 集計		23	42	65	16%
50-59	1級	18	30	48	12%
	2級	12	17	29	7%
	3級	7	9	16	4%
	4級	11	20	31	8%
	5級	6	7	13	3%
	6級	1	5	6	2%
50-59 集計		55	88	143	36%
60-65	1級	13	19	32	8%
	2級	8	8	16	4%
	3級	6	13	19	5%
	4級	14	12	26	7%
	5級	4	6	10	3%
	6級	3	5	8	2%
60-65 集計		48	63	111	28%
総計		158	242	400	100%

表1-3：富士市身体障害者手帳所持者

協力依頼文書に対して返信葉書を送ってくれた人（18歳以上65歳未満）

総合等級 1級最重度 6級最軽度

年齢階層	総合等級	女	男	総計	割合
18-29	1級	4		4	2%
	2級		1	1	1%
	3級		1	1	1%
	4級	1		1	1%
	6級	1		1	1%
18-29 集計		6	2	8	4%
30-39	1級	2	3	5	3%
	2級	3	3	6	3%
	3級		1	1	1%
	4級	2	3	5	3%
	5級	1	3	4	2%
	6級		1	1	1%
30-39 集計		8	14	22	12%
40-49	1級	2	8	10	5%
	2級	4	4	8	4%
	3級	1	4	5	3%
	4級	3	4	7	4%
	5級		5	5	3%
	6級		2	2	1%
40-49 集計		10	27	37	20%
50-59	1級	7	11	18	10%
	2級	9	4	13	7%
	3級	2	5	7	4%
	4級	6	6	12	7%
	5級	4	1	5	3%
	6級	1	2	3	2%
50-59 集計		29	29	58	32%
60-65	1級	8	9	17	9%
	2級	2	5	7	4%
	3級	2	5	7	4%
	4級	8	9	17	9%
	5級	3	2	5	3%
	6級	3	3	6	3%
60-65 集計		26	33	59	32%
総計		79	105	184	100%

表1-4：富士市身体障害者手帳所持者 協力者（18歳以上65歳未満）  
総合等級 1級最重度 6級最軽度

年齢階層	総合等級	女	男	総計	割合
18-29	1級	1		1	1%
	2級		1	1	1%
	6級	1		1	1%
18-29 集計		2	1	3	4%
30-39	2級	2	2	4	5%
	3級		1	1	1%
	4級	1	1	2	2%
30-39 集計		3	4	7	8%
40-49	1級	1	3	4	5%
	2級	3	2	5	6%
	3級		2	2	2%
	4級	2	1	3	4%
	5級		1	1	1%
40-49 集計		6	9	15	18%
50-59	1級		7	7	8%
	2級	5	3	8	9%
	3級	2	2	4	5%
	4級	2	2	4	5%
	5級	2		2	2%
50-59 集計		11	14	25	29%
60-65	1級	7	4	11	13%
	2級		3	3	4%
	3級	1	2	3	4%
	4級	4	5	9	11%
	5級	3	2	5	6%
	6級	2	2	4	5%
60-65 集計		17	18	35	41%
総計		39	46	85	100%

(注) この表の協力者とは協力を申し出てくれた人数を表し、実際に協力が得られた数とは必ずしも一致しない。

表 2-1 : 富士市療育手帳所持者 (18 歳以上 65 歳未満知的障害者)

療育程度内容 A=重度 A1 最重度 B=軽度 B2 最軽度

(注) 認定の初期においては AB の 2 分類であった。

年齢階層	療育程度	女	男	総計	割合
18-29	A	1	2	3	0%
	A1	18	15	33	4%
	A2	27	44	71	9%
	A3	3	7	10	1%
	B	2	2	4	1%
	B1	19	37	56	7%
	B2	39	76	115	15%
18-29 集計		109	183	292	37%
30-39	A	1	1	2	0%
	A1	10	18	28	4%
	A2	15	41	56	7%
	A3	1	5	6	1%
	B	3	1	4	1%
	B1	22	31	53	7%
	B2	30	55	85	11%
30-39 集計		82	152	234	30%
40-49	A	3	5	8	1%
	A1	5	5	10	1%
	A2	10	15	25	3%
	A3		2	2	0%
	B	4	6	10	1%
	B1	22	25	47	6%
	B2	10	23	33	4%
40-49 集計		54	81	135	17%
50-59	A	10	13	23	3%
	A1		2	2	0%
	A2	13	7	20	3%
	A3		2	2	0%
	B	2	3	5	1%
	B1	27	22	49	6%
	B2	8	9	17	2%
50-59 集計		60	58	118	15%
60-65	A2	1		1	0%
60-65 集計		1		1	0%
総計		306	474	780	100%

表 2-2 : 富士市療育手帳所持者 協力依頼文書発送者 (18 歳以上 65 歳未満知的障害者)  
療育程度内容 A=重度 A1 最重度 B=軽度 B2 最軽度

(注) 認定の初期においては AB の 2 分類であった。

年齢階層	療育程度	女	男	総計	割合
18-29	A1	1	2	3	3%
	A2	2	11	13	13%
	A3	1	1	2	2%
	B	1		1	1%
	B1	2	6	8	8%
	B2	7	4	11	11%
18-29 集計		14	24	38	38%
30-39	A		1	1	1%
	A1	1	2	3	3%
	A2	1	6	7	7%
	A3	1	3	4	4%
	B	1		1	1%
	B1	3	2	5	5%
B2	4	6	10	10%	
30-39 集計		11	20	31	31%
40-49	A1		1	1	1%
	A2	3	1	4	4%
	B	1	1	2	2%
	B1	2	2	4	4%
	B2	1	5	6	6%
40-49 集計		7	10	17	17%
50-59	A	1	2	3	3%
	B1	4	3	7	7%
	B2	1	1	2	2%
50-59 集計		6	6	12	12%
60-65	A		1	1	1%
	B1	1		1	1%
60-65 集計		1	1	2	2%
総計		39	61	100	100%

表2-3：富士市療育手帳所持者 協力依頼文書に対して返信葉書を送ってくれた人  
(18歳以上65歳未満知的障害者)

療育程度内容 A=重度 A1最重度 B=軽度 B2最軽度

(注) 認定の初期においてはABの2分類であった。

年齢階層	療育程度	女	男	総計	割合
18-29	A1	1		1	2%
	A2	2	8	10	23%
	B	1		1	2%
	B1	2		2	5%
	B2	2	2	4	9%
18-29 集計		8	10	18	42%
30-39	A1		2	2	5%
	A2		2	2	5%
	A3	1	2	3	7%
	B1	2	1	3	7%
	B2	2	5	7	16%
30-39 集計		5	12	17	40%
40-49	B	1	1	2	5%
	B2	1	2	3	7%
40-49 集計		2	3	5	12%
50-59	B1		1	1	2%
	B2	1		1	2%
50-59 集計		1	1	2	5%
60-65	A		1	1	2%
60-65 集計			1	1	2%
総計		16	27	43	100%

表2-4：富士市療育手帳所持者 協力者 (18歳以上65歳未満知的障害者)

療育程度内容 A=重度 A1最重度 B=軽度 B2最軽度

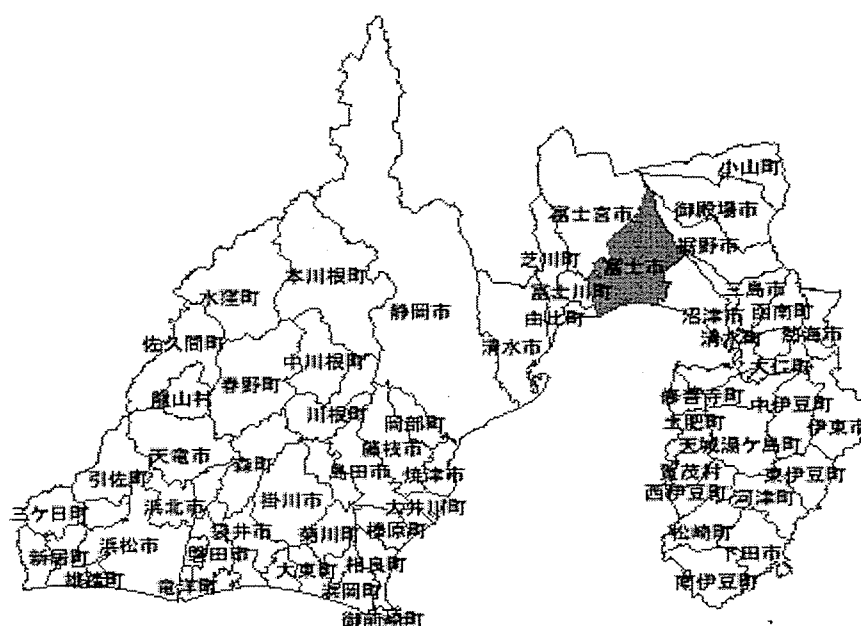
(注) 認定の初期においてはABの2分類であった。

年齢階層	療育程度	女	男	総計	割合
18-29	A2		2	2	20%
18-29 集計			2	2	20%
30-39	A2		1	1	10%
	A3		1	1	10%
	B2	1	1	2	20%
30-39 集計		1	3	4	40%
40-49	B	1	1	1	10%
	B2	1		2	20%
40-49 集計		2	1	3	30%
50-59	B1		1	1	10%
50-59 集計			1	1	10%
総計		3	7	10	100%



## 【富士市の概要】

富士市は日本のほぼ中央の静岡県にあり、秀麗な富士山の南麓に広がる街です。私たちのまち富士市は、世界に誇る富士山の自然にいだかれ、豊かな緑と湧水の恵みによって発展してきた、静岡県東部の中核都市です。製紙業に代表される本市の産業は、この恵まれた自然環境と交通の要所という地理的条件によって、近年めざましい発展を遂げてきました。（富士市ホームページより）<sup>1</sup>



(C)2002-2008PASCO (C)1990-2008INCREMENT P(C)2003 財団法人日本デジタル道路地図協会

(総務省統計局統計GISプラザ<sup>2</sup>よりダウンロード)

上記の静岡県地図にみるように、富士市は県東部に、東海道の沿線に位置している。静岡県では、平成17年度には多くの市町村合併がおこなわれたが、富士市の市町村合併については、具体的に決定されている状況ではない。そして富士市役所のホームページにおいては、「富士市・富士宮市・芝川町の二市一町は、『富士地区広域市町村圏協議会』を構成し、住民票や戸籍の謄抄本の相互交付などの事業を行っています。しかし、「合併をする・しない」については、まだ何も決まっていません。」と説明されている。<sup>3</sup>

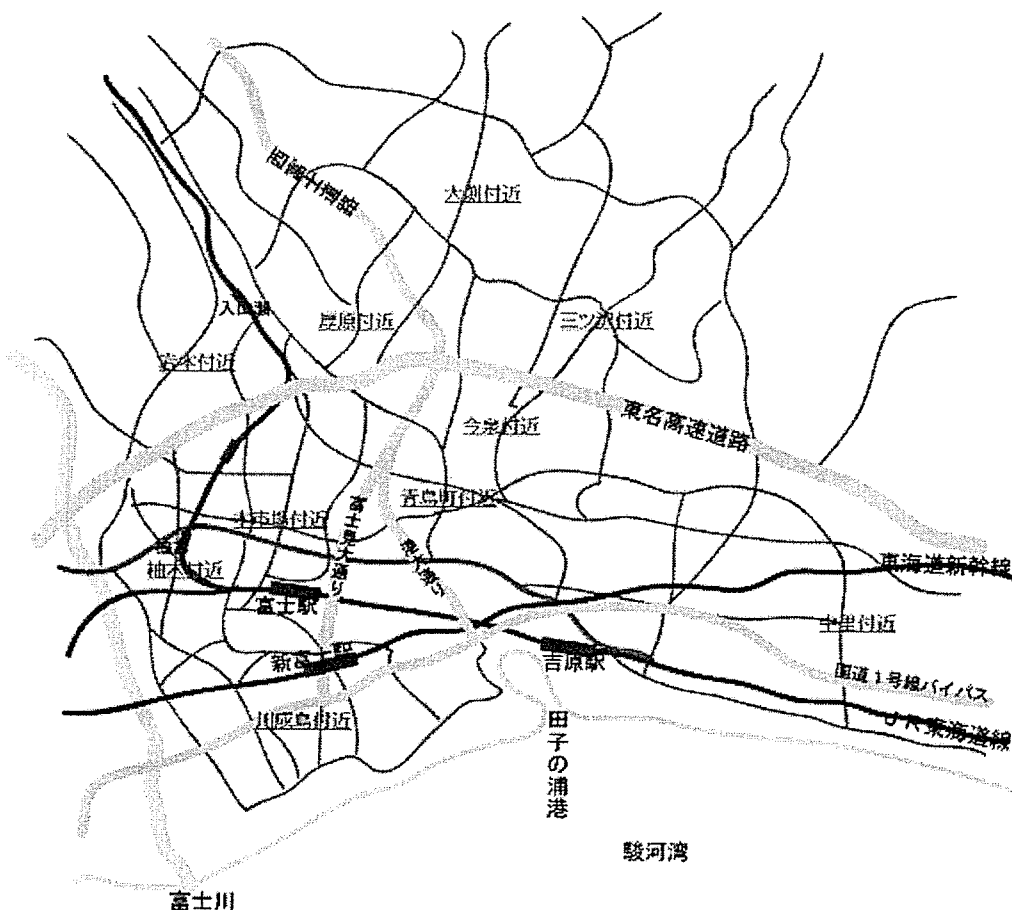
<sup>1</sup> <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/machi/sicyou/sicyou.htm>

<sup>2</sup> <http://gisplaza.stat.go.jp/GISPlaza/>

<sup>3</sup> <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~kouiki/gappei/gappei.htm>

富士市は交通の便のよさから、企業や大学、病院や施設などが多く誘致されてきた。

次の地図でわかるように、東名高速道路と東海道新幹線が市の南部を通り、新幹線を利用すると東京首都圏から約1時間以内で到着することができる。現在第2東名高速道路の建設が進んでおり、現在のインターチェンジの北側に第2富士インターチェンジの開設を機に広域物流センターの開業も計画されている。



(富士市公式ホームページよりダウンロード)

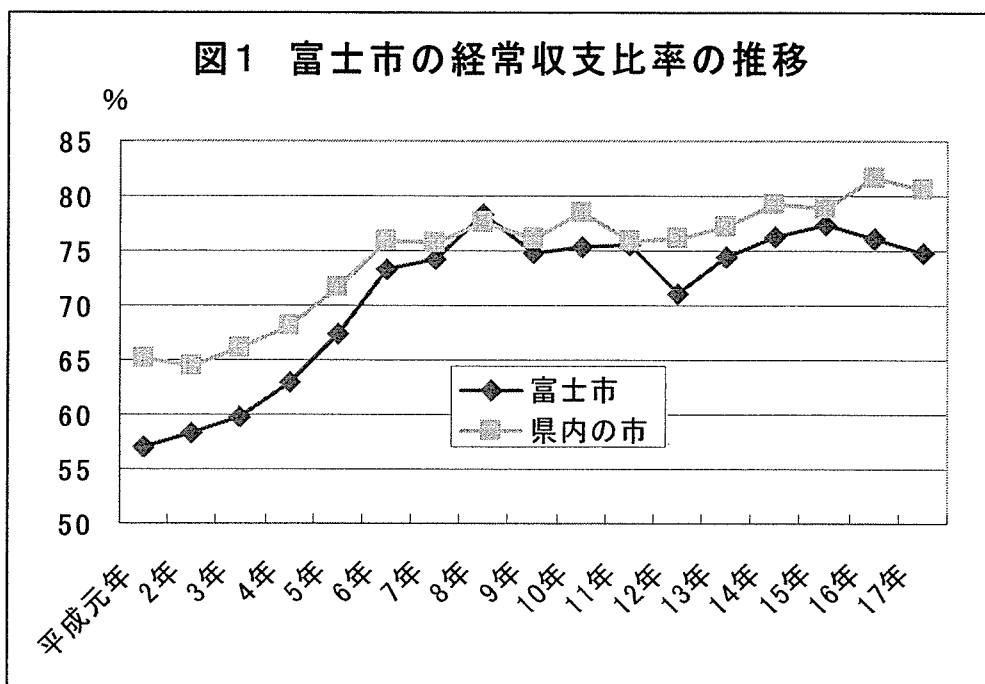
富士市は立地条件として富士山の雪解け水を源泉とする地下水が豊富であり、田子の浦港からの海外からのチップ材などの材料の運搬が容易なため、パルプ・製紙業が以前から活発だったが、近年は電子機器や精密機械関係の工場が進出してきている。

富士市の財政状況は、平成17年度の経常収支比率は74.9%<sup>4</sup>であり、都市部で75%が標

<sup>4</sup> 経常収支比率 経常的経費に充てられた一般財源等の、経常一般財源に対する比率であり、財政構造の弾力性を判断する指標。都市では75%、町村では70%程度が妥当であり、これがおの5%程度超えると財政構造が硬直化しつつあると考えられている。

平成2年度以降、地方税が減少して経常一般財源が伸び悩む一方、公債費、扶助費等が大幅

準とされる経常収支比率からすれば、均衡のとれた財政状況を保っているといえる。図 1 にみるように、静岡県内の平均を下回る好財政状況にあるといえる。



(富士市ホームページ<sup>5</sup>よりデータをダウンロードして作成)

富士市における福祉支出の規模を仮に「民生費」を指標として観察すると、富士市の支出総額に占める民生費の割合は 23.7%である。静岡県平均 21.7%、市部平均が 22.1%である。これらの数値は平成 17 年度のものである。<sup>6</sup>

## 【人 口】

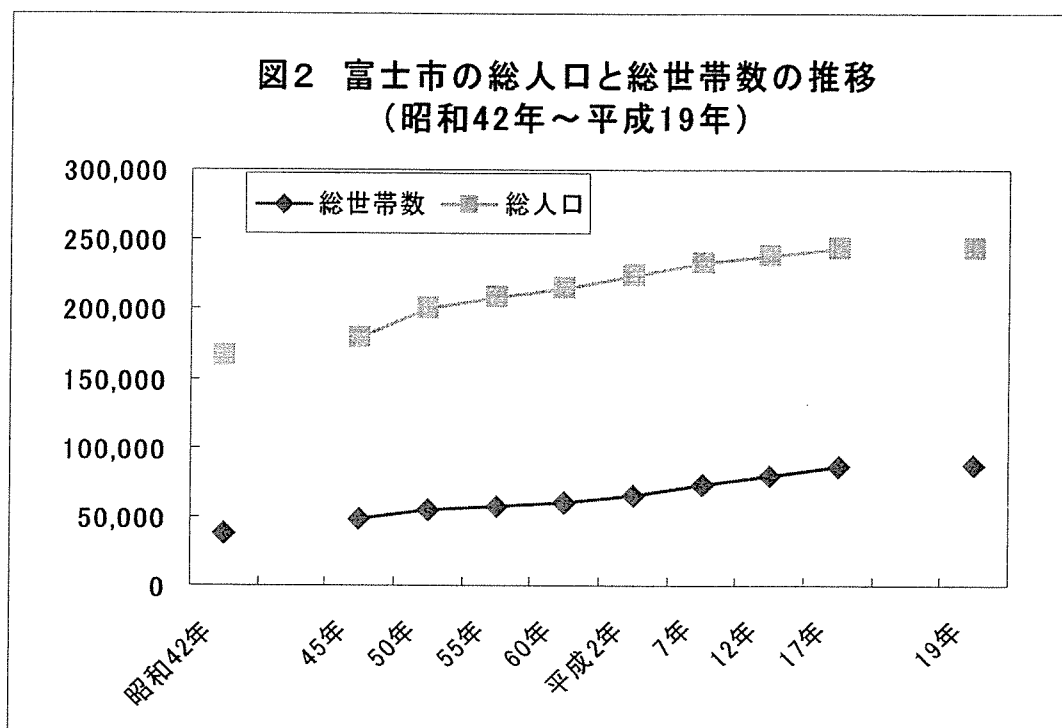
平成 19 年 2 月現在 243,712 人、世帯数 88,241 である。図 2 のように、昭和 40 年代(1960 年代半ば) から現在に至るまで、人口数及び世帯数は平行して増加してきている。

に伸び、経常的経費が増大したため、急激に悪化してきた。計算方法は(経常的経費充当一般財源等÷経常一般財源等)×100% 経常的経費とは、毎年度継続して経常的に支出する経費のこと。人件費、物件費、維持補修費、扶助費、公債費等から臨時的性格の強いものを除いたもの。経常一般財源等とは、毎年度継続して経常的に収入され、用途の制限のない財源。普通税、地方譲与税、各種交付金、地方交付税などが該当する。

<sup>5</sup> <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/cityhall/zaisei-b/zaisei/sihyo/sihyo1.htm#指標の推移>

<sup>6</sup> <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/sm-19/kessan1h16/siryou.html> より平成 17 年度目的別歳出状況の表から計算。

図2 富士市の総人口と総世帯数の推移  
(昭和42年～平成19年)



総人口(人)	242,932
15歳未満割合	15.5%
15～64歳割合	67.3%
65歳以上割合	17.2%
18～64歳割合	64.0%

(平成17年4月1日現在人口を基礎に計算)

富士市における障害者人口については、富士市障害者プラン<sup>7</sup>に掲載資料は以下のようになっています。

身体障害者手帳所持者は平成17年4月1日現在で6,729人。年齢別では65歳以上の高齢者が58.5%を占めており、平成16年度新規障害者手帳交付申請においては、65歳以上の割合が全体の72%と高齢者の占める割合が増えています。

<sup>7</sup> ふじし障害者プラン～自立と共生をめざして～

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/cityhall/fukusi-b/syougai/keikaku/index.htm>

表1 身体障害者 障害別 年齢区分別所持者数

(単位：人)

障害別	18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
視覚障害	14	176	274	464
平衡機能聴覚障害	24	170	271	465
音声言語障害	0	29	41	70
肢体不自由	112	1,615	2,385	4,112
内部障害	53	597	968	1,618
合計	203	2,587	3,939	6,729

平成17年4月1日現在

表2 身体障害者 障害別・等級状況

(単位：人)

	視覚障害	平衡機能 聴覚障害	音声言語 障害	肢体 不自由	内部障害	合計
1級	181	18		1,040	989	2,228
2級	119	150	2	905	13	1,189
3級	36	64	57	618	321	1,096
4級	28	68	11	866	295	1,268
5級	61	1		461		523
6級	39	164		222		425
合計	464	465	70	4,112	1,618	6,729

平成17年4月1日現在

表3 知的障害者 種別・年齢別 療育手帳所持児者状況

(単位：人)

		0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
平成17年	A	10	66	36	34	311	457
	B	34	72	37	51	465	659
						合計	1,116

A：最重度・重度 B：中度・軽度

平成17年4月1日現在

表4 精神障害者保健福祉手帳及び通院医療費公費負担受給者数

(単位：人)

	精神保健福祉手帳所持者数				通院公費負担 受給者数
	1級	2級	3級	計	
平成17年	56	281	131	468	1,420

平成17年4月1日現在

## 第2回障害者生活実態調査 単純集計表

### 目次

表1	世帯員数.....	35
表2	障害者本人（以下本人とする）の年齢階層別 性別.....	35
表3	本人の年齢階層別 配偶者の有無及び別居の子の有無.....	36
表4	世帯員数別 同居世帯員内訳.....	37
表5	世帯類型別 世帯数.....	37
表6	障害種別の性別内訳.....	37
表7	障害種別の本人所得階層別グループ.....	38
表8	障害種別の世帯所得階層別グループ.....	39
表9	障害種別の医療の受給状況.....	40
表10	障害種別の福祉サービスの受給状況.....	40

## 第2回 障害者生活実態調査 平成18年

### 単純集計表

表1 世帯員数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
単独世帯	15	13.3	13.3	13.3
2人世帯	36	31.9	31.9	45.1
3人世帯	29	25.7	25.7	70.8
4人世帯	21	18.6	18.6	89.4
5人世帯	8	7.1	7.1	96.5
6人世帯	2	1.8	1.8	98.2
7人世帯	1	0.9	0.9	99.1
8人世帯	1	0.9	0.9	100.0
合計	113	100.0	100.0	

表2 障害者本人（以下本人とする）の年齢階層別 性別

	男	女	合計
18歳以上20歳未満	0	1	1
20歳以上25歳未満	2	2	4
25歳以上30歳未満	3	2	5
30歳以上35歳未満	2	3	5
35歳以上40歳未満	8	4	12
40歳以上45歳未満	4	5	9
45歳以上50歳未満	8	7	15
50歳以上55歳未満	6	1	7
55歳以上60歳未満	11	10	21
60歳以上65歳未満	18	16	34
合計	62	51	113

表3 本人の年齢階層別 配偶者の有無及び別居の子の有無

配偶者の有無

	あり	未婚	死別	離別	合計
18歳以上20歳未満	0	1	0	0	1
20歳以上25歳未満	0	4	0	0	4
25歳以上30歳未満	1	4	0	0	5
30歳以上35歳未満	1	2	0	2	5
35歳以上40歳未満	3	7	0	2	12
40歳以上45歳未満	1	8	0	0	9
45歳以上50歳未満	6	7	0	2	15
50歳以上55歳未満	3	3	0	1	7
55歳以上60歳未満	16	4	1	0	21
60歳以上65歳未満	29	2	0	3	34
合計	60	42	1	10	113

別居の子の有無

	あり	なし	不詳	合計
18歳以上20歳未満	0	1	0	1
20歳以上25歳未満	0	4	0	4
25歳以上30歳未満	1	4	0	5
30歳以上35歳未満	3	1	1	5
35歳以上40歳未満	1	10	1	12
40歳以上45歳未満	1	8	0	9
45歳以上50歳未満	5	10	0	15
50歳以上55歳未満	4	3	0	7
55歳以上60歳未満	17	4	0	21
60歳以上65歳未満	28	6	0	34
合計	60	51	2	113



表4 世帯員数別 同居世帯員内訳

	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	合計
1 配偶者	27	14	10	6	1	1	1	60
2 子	4	13	16	16	2	1	2	54
3 子の配偶者	0	0	1	0	0	1	1	3
4 孫	0	0	0	0	0	3	3	6
5 孫の配偶者	0	0	0	0	0	0	0	0
6 父母	3	26	24	4	4	0	0	61
7 配偶者の父母	0	1	0	1	0	0	0	2
8 祖父母	0	0	4	0	2	0	0	6
9 兄弟姉妹	2	4	8	2	1	0	0	17
10 その他の親族	0	0	0	3	0	0	0	3
合計	36	58	63	32	10	6	7	212

表5 世帯類型別 世帯数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1 単身世帯	12	10.6	10.6	10.6
2 生殖家族	60	53.1	53.1	63.7
3 定住家族	34	30.1	30.1	93.8
4 その他世帯	4	3.5	3.5	97.3
5 グループホーム	3	2.7	2.7	100.0
合計	113	100.0	100.0	

表6 障害種別の性別内訳

	男	女	合計
1 身体障害者	42	33	75
2 知的障害者	5	3	8
3 精神障害者	8	6	14
4 重複障害者	4	3	7
5 非手帳保持者	3	6	9
合計	62	51	113

表7 障害種別の世帯所得階層別グループ

本人所得階層グループ

	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	重複 障害者	非手帳 保持者	合計
50万円未満	19	1	3	1	6	30
50万円～100万円未満	9	3	8	4	2	26
100万円～150万円未満	9	2	2	2	1	16
150万円～200万円未満	5	2	1	0	0	8
200万円～250万円未満	9	0	0	0	0	9
250万円～300万円未満	7	0	0	0	0	7
300万円～350万円未満	4	0	0	0	0	4
350万円～400万円未満	1	0	0	0	0	1
400万円～450万円未満	4	0	0	0	0	4
450万円～500万円未満	2	0	0	0	0	2
500万円～550万円未満	1	0	0	0	0	1
550万円～600万円未満	0	0	0	0	0	0
600万円～650万円未満	1	0	0	0	0	1
650万円～700万円未満	1	0	0	0	0	1
700万円～750万円未満	1	0	0	0	0	1
750万円～800万円未満	0	0	0	0	0	0
800万円～850万円未満	0	0	0	0	0	0
850万円～900万円未満	0	0	0	0	0	0
900万円～950万円未満	0	0	0	0	0	0
950万円～1000万円未満	0	0	0	0	0	0
1000万円～1100万円未満	0	0	0	0	0	0
1100万円～1200万円未満	1	0	0	0	0	1
1200万円～1500万円未満	0	0	0	0	0	0
1500万円～2000万円未満	0	0	0	0	0	0
2000万円以上	1	0	0	0	0	1
合計	75	8	14	7	9	113

表8 障害種別の世帯所得階層別グループ

世帯所得階層グループ

	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	重複 障害者	非手帳 保持者	合計
50万円未満	2	0	1	0	3	6
50万円～100万円未満	3	1	6	0	0	10
100万円～150万円未満	2	0	1	0	0	3
150万円～200万円未満	4	2	1	2	0	9
200万円～250万円未満	6	0	0	0	0	6
250万円～300万円未満	4	0	1	1	1	7
300万円～350万円未満	5	0	0	0	0	5
350万円～400万円未満	6	0	0	0	1	7
400万円～450万円未満	4	0	1	0	0	5
450万円～500万円未満	3	1	0	0	1	5
500万円～550万円未満	7	1	0	0	1	9
550万円～600万円未満	1	0	0	0	0	1
600万円～650万円未満	1	0	1	1	1	4
650万円～700万円未満	3	1	1	1	0	6
700万円～750万円未満	6	0	0	0	0	6
750万円～800万円未満	1	0	0	0	0	1
800万円～850万円未満	4	0	0	0	0	4
850万円～900万円未満	1	0	0	0	0	1
900万円～950万円未満	2	0	0	0	0	2
950万円～1000万円未満	1	0	1	0	0	2
1000万円～1100万円未満	2	1	0	0	0	3
1100万円～1200万円未満	1	0	0	1	0	2
1200万円～1500万円未満	4	0	0	1	1	6
1500万円～2000万円未満	0	1	0	0	0	1
2000万円以上	2	0	0	0	0	2
合計	75	8	14	7	9	113

表 9 障害種別の医療の受給状況

	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	重複 障害者	非手帳 保持者	合計
本人（被用者保険）	17	3	1	1	1	23
家族（被用者保険）	12	2	3	5	3	25
国民健康保険	39	3	7	1	5	55
医療扶助（生活保護法）	3	0	2	1	0	6
その他（結核予防法等）	1	0	0	0	0	1
不詳	3	0	1	0	0	4
合計	75	8	14	8	9	114

表 10 障害種別の福祉サービスの受給状況

	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	重複 障害者	非手帳 保持者	合計
身体介護	5	0	0	0	0	5
家事援助	4	1	1	1	0	7
移動介護	1	0	0	0	0	1
日常生活支援	2	1	0	0	0	3
デイケア	3	0	4	1	0	8
その他	4	3	11	3	9	30
介護保険制度	4	0	0	0	0	4
不詳	59	4	1	2	0	66
合計	82	9	17	7	9	124